

# SEIAN

VOL.

# 11

発行日 | 令和5年9月1日

発行者 | 学校法人京都成安学園 理事長 小林徹

編集 | 学校法人京都成安学園 法人本部

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

Tel. 077-574-2111(代表) Fax. 077-574-2120

E-mail. houjin\_soumu@seian.ac.jp

Web. www.seian.ac.jp

デザイン | 外山央





## 理事長挨拶

### 大学開学30周年によせて

本年度、成安造形大学は、多くの皆様方のご支援とご協力を頂く中、おかげさまで開学30周年を迎えることができました。

思い起こせば今から30年前、時はバブル期の真っただ中、本学園の念願であった四年制大学として設立した成安造形大学は、開学から今まで関わって来られた多くの先人達の絶え間ない経営努力により、此処に30周年という記念すべき年を迎えることができました。教職員の不断の努力が今日の成安の文化、校風を築いたのであり、その積み重ねが大学運営の継続を可能とする大きな力になったものと考えております。深く感謝すると共に、関係各位に御礼申し上げたいと思います。

手前味噌になってしまいますが、成安の良さ、素晴らしいと感じるところをお伝えしたいと思います。それは、大学内のたくさんの人達が、程よい距離感にあるということです。その距離感により、暖かな人間関係が築け、お互いの親密感が自然と芽生え、良い相乗効果が生まれていると感じます。実際、学外の多くの方からも「成安の皆さん(教職員や学生)は、アットホームで親切、面倒見が良いですね」と言われます。このような文化・校風は、開学以来30年間の大きな財産として、これからの成安の成長・発展のために、今後も揺るぎない大きな魅力ある要素として、次世代に継承して行きたいと考えています。

一方で、本学だけでなく、我が国の大学運営を取り巻く環境は大きく変わっていています。社会環境面においては少子高齢化、グローバル化、SNS等のDX化等、教育の在り方や人間関係の在り方の思考が劇的に変わりつつある昨今、こうした要素は大学存続への影響にも繋がっています。教育環境においてはAIの発展により、人間の為すべき領域を変えていくことになり、私たち人間が何を為すべきか、その真意が問われることになると感じます。

そのような時代の変革期において、明確な方向性や答えは現時点では容易には見つけられませんが、それらの変化や予兆に対応できるよう常にアンテナを張り、将来・未来に向けた大学運営において今私たちは何をすべきか、どのような姿になりたいのかということ仲間と議論し、意見交換の上マインドを高めあい、そしてチャレンジしていく。本学は、そのことができる文化・校風である大学だと思っております。

成安造形大学開学30周年を迎えた今、今後50周年、100周年に向け、後世の方々笑顔のために、多くの前向きな取り組みにトライし続けて行くことをお誓い申し上げます。

引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



令和5年9月  
学校法人京都成安学園  
理事長 小林徹

## 成安造形大学開学30周年記念事業

### 成安造形大学開学30周年を迎えて

琵琶湖を始めとする自然、また歴史や文化に恵まれた滋賀県、その県内唯一の芸術大学として大津市仰木の地に平成5年(1993)4月に開学しました成安造形大学は、今年開学30周年を迎えました。

先ずはこれまで長きにわたり本学にご支援ご協力を賜りました卒業生、在学生、保護者、そして教職員をはじめとする関係者すべての方々へ深く感謝申し上げます。お蔭をもちまして、これまでに送り出しました卒業生も約6,000人にのぼり、アートやデザインはもとより、社会の各分野で活躍の場を広げています。また本学は「芸術による社会への貢献」という教育理念の下、地域や社会と連携した教育研究活動を推進し、地域に根ざし社会に発信する大学としての評価を高めてきております。

この30年のトピックを簡単に振り返ってみましょう。大階段より北部分の施設を中心とした開学当初は、造形美術科60人、デザイン科80人、入学定員140人でスタートしました。その後、平成13年(2001)に実習棟G、H、同15年(2003)に実習棟I、Jと聚英館が竣工し、その間、入学定員も増加しました。平成22年(2010)からは入学定員200人としていましたが、本年度からは近年の受験者数を鑑み、入学定員を220人に増員しています。

学内施設ではこの他、平成16年(2004)に教員や学生によるセルフビルドによってカフェテリア「結」が建設され、学生教職員だけでなく地域の方々にもご利用いただき大変好評をいただいております。残念ながらコロナ禍の期間は閉店しておりましたが、この秋よりコミュニティスペース「結」として再スタートいたします。是非またご利用ください。平成22年にはキャンパス回遊式の「キャンパスが美術館」が開館し、SEIAN ARTS ATTENTIONと銘打つ企画展もこの秋で17回(0回-16回)を数えます。

研究及び地域連携関連としては、平成20年(2008)に近江学研究所を設立し、文化誌『近江学』(1号-14号)の刊行、公開講座や写生会を開催してきました。また令和3年(2021)に設立した未来社会デザイン共創機構では、学生が行う制作や研究に対する助成事業としてSEIANドリームプロジェクト(学生特別研究助成事業)も新たに開始しています。

30周年を起点として、コンパクトながらも本学ならではの質を最優先にした教育の実施や制作活動の活性化、地域連携による研究成果の発信を通して更なる進化を図り、これからは新時代にふさわしい活気溢れる芸術大学を目指してまいります。どうぞ皆さま、これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年9月  
成安造形大学  
学長 小寺善通

## 成安造形大学開学30周年記念事業の概要

本学園では成安造形大学開学30周年を記念し、令和5(2023)年度において様々な記念事業を予定しております。

5月13日[土]に開催済みの本学客員教授／今森光彦氏による〈開学30周年記念特別公開講座『禍 転じて一禍とともに暮らす 自然災害と里山の再生』〉を皮切りに、在学生の参画を促し立ち上げた『YUI Lab』を中心とした〈コミュニティスペース「結」のリニューアル事業〉の検討、10月13日[金] -11月11日[土]を会期とする〈大学開学30周年記念展覧会 SEIAN ARTS

ATTENTION16〉の開催。さらに、コロナ禍を経て数年ぶりの実施となる〈成安ホームカミングデー2023 30th anniversary〉を11月11日[土]に予定しております。

これらの記念事業を通して、皆さまと直接お目にかかれることを、また多くの方々のご縁を結ぶきっかけとなることを心より願っております。

成安造形大学開学30周年の節目、これまでの感謝を申し上げますとともに今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



コミュニティスペース「結」リノベーション事業「YUI Lab」活動風景

### 令和4年度 寄付者顕彰

寄付者の皆様への感謝の気持ちを込めて、顕彰をいたします。ご寄付をいただいた皆様のご厚志に感謝し、ここにご芳名を掲載させていただきます。

#### 寄付者ご芳名

安部渉様／岩切和子様

株式会社錦財産コンサルタンツ様／樋口信弘様

リサイクル募金(きしゃぼん)による寄付者ご芳名

稲垣尚子様／村澤泰雄様／吉岡保乃様

(いずれも五十音順・掲載許可をいただいた方のみ掲載)

## YOHAKUII

### 成安造形大学学生専用アパートメントYOHAKUII 第2期工事竣工

令和5年3月、大学の近隣地域に建設していた成安造形大学学生専用アパートメントYOHAKUIIの第2期工事計26部屋が竣工し、入居者を受け入れてい

ます。これでYOHAKUII全50室の整備が完了し、全88部屋で運用しているYOHAKUIIと合わせて138室となります。





成安造形大学開学30周年記念展覧会

2023 秋の芸術月間 セイアンアーツアテンション16 「Error of Reality」

本展覧会「Error of Reality」では、私たちが持つ現実世界への感性や認識にわずかにエラーを起こさせる、ユニークでユーモアのある作品を紹介していきます。

私たちは現在、目の前にある現実世界をどのように感じているでしょうか。科学技術が発展し、インフラが整備され、生活水準は確かに向上しているように思えます。一方、自然災害、パンデミック、戦争など、過去に経験したことのあるあらゆる災害を、私たちは21世紀早々一つも防ぐことはできませんでした。日本では経済の低迷や少子高齢化など先行きの見えない課題が山積し、生活の豊かさを感じる以上に、漫然とした不安や閉塞感を感じている人も多いのではないのでしょうか。

タイトルにある「エラー」という言葉はラテン語を語源とし、本来あるべき状態から逸脱したもの、というニュアンスを含んでいます。例えばコンピュータプログラミングの世界では、電子計算機を期待通りに動かすための記述(=プログラム)が、正しく記述されていない時に、エラーは発生します。エラーは一般に悪いもの、危機的なものと思われがちですが、本来は誤りの箇所を特定し、訂正するためのヒントを示す役割を担っています。

私たちの現実世界を捉える感性にも、そうした逸脱=エラーが垣間見える時があります。目の前に提示される様々な物事に対して、現実だと感じていたものがそうではなかったり、虚構だと感じていたものが現実であったり、インターネットの普及により情報の真実性が厳しく問われる昨今、そうした感性のエラーは時にトラブルの元にもなりますが、時に私たちの現実世界の感じ方そのものに修正を加え、ネガティブな見方をポジティブに反転させる契機となることもあります。

そこで本展覧会では、私たちが持つ現実世界への感性や認識について、アーティストの想像性を通して捉え直すことができる、ユニークでユーモアのある作品を紹介していきます。現実性と虚構性の間を絶妙なバランスで渡り歩くアーティストの表現に触れることで、私たちが持っている現実世界への認識や感性を一度リセットし、日々の不安や閉塞感にわずかながらの風穴をあけ、目の前に広がる世界の見方をより楽しく、豊かにする契機となることを目指します。

会期 | 2023年10月13日[金]–11月11日[土]

時間 | 11:00–17:00

休館 | 日・月曜・祝日

会場 | 成安造形大学【キャンパスが美術館】

主催 | 成安造形大学・成安造形大学同窓会



※展覧会の詳細は【キャンパスが美術館】HPからご確認いただけます。  
<https://artcenter.seian.ac.jp>



平瀬ミキ(Translucent Objects)部分



今村遼佑(ねじれの位置と、木漏れ陽)部分



垣本泰美(Weaving a Memory #01)



谷平博(わからないことを問い続ける放浪者)

附属近江学研究所

成安造形大学開学30周年記念 附属近江学研究所 特別公開講座

『禍 転じて一禍とともに暮らす 自然災害と里山の再生』を開催しました

成安造形大学附属近江学研究所では、新型コロナウイルス感染症への対応により令和2(2020)年度から特別公開講座の開催を中止していましたが、この春、開学30周年記念事業の一つとして、『禍 転じて一禍とともに暮らす 自然災害と里山の再生』と題した講座を開催し、写真家で本学の客員教授である今森光彦氏にご登壇いただきました。

講座では、文化誌『近江学』第14号の巻頭にある今森氏のインタビュー「禍 転じて一再生への道筋」に関連する写真をスクリーンに投影しながら、自然災害という「禍」が里山に何をもちたすのか、「禍」により里山がどう変化していくのかなど、新型コロナウイルス感染症がもたらした禍とも通じる「禍」との向き合い方や「禍」とともにある暮らしについてお話いただきました。

受講者からは、美しい自然の写真と今森先生の解説・エピソードで楽しく学ぶことができた。「禍」という言葉はあまり良くないイメージだが、講座を聞いて「禍」があるから私たちの暮らしがあり、美しい自然(風景)が生まれているのだと思った。「禍」は人・生物をたくましくするという考えに同感した、など多くの感想をいただきました。

また、近江学研究所では、昨年度取り組んだ研究テーマ「近江の禍」で、「禍」とともに生きる人や自然の姿、そしてそこにあるコミュニティのかたちを検証す

るなかで、令和5(2023)年度から令和7(2025)年度の新たな研究プロジェクトとして、近江のコミュニティを再考する『惣(そう)座(ざ)講(こう)研究プロジェクト』を推進することになりました。

1年目となる令和5(2023)年度は、「近江の惣」を研究テーマに、「共に住む」「共に生きる」コミュニティとして、中世、近世の村の成り立ちや現代の地縁コミュニティ等の検証に取り組んでいます。中でも大津市堅田地域に焦点を当て、「堅田図旧襖絵」(大徳寺瑞峯院旧蔵・静嘉堂文庫美術館所蔵)の絵解きから都市と農村という多様な機能を持つ自治集落のコミュニティのかたちを見出そうと研究を進めています。今年度の研究の成果は、令和6年2月に発刊予定の文化誌『近江学』第15号に掲載いたします。ご期待ください。



開学30周年記念特別公開講座の様子



今森光彦氏

### 湖西線アートプロジェクト

令和3(2021)年度から実施している西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)との連携事業「湖西線アートプロジェクト」第二弾となる令和4(2022)年度は、総合領域3年生の演習授業と連携し、大学の最寄り駅であるおごと温泉駅を舞台に実施しました。駅名から着想を得たのれんアートやかつてお土産の定番だったペナントをモチーフにした巨大アートを制作し、令和5(2023)年2月におごと温泉駅に展示しました。ワークショップでJR利用者や地元の方々と共に制作したたくさんのオリジナルペナントも駅構内を彩りました。



取組み期間 | 2022年4月-2023年3月  
 パートナー(連携先) | 西日本旅客鉄道株式会社、  
 湖西線利便性向上プロジェクト推進協議会  
 参加学生 | 総合領域3年生17名(内コアメンバー3名)  
 担当教員 | 宮永真実 講師

### ムダモルフォーゼプロジェクト

アパレル業界の大量生産・大量廃棄問題に着目し、捨てられるはずだったモノに新たな価値を生み出す「アップサイクル」を推進すべく立ち上がったプロジェクトです。無駄を変身させ、新たな価値を生み出すことを目指し、有志学生によって「ムダモルフォーゼプロジェクト」と名付けられました。在学生・卒業生から着物やネクタイ、端材などの廃棄物を活用したアート作品を公募し、令和4(2022)年10月に阪急うめだ本店10階『うめだスーク』中央街区にて展示・販売会を開催しました。



取組み期間 | 2022年4月-2023年3月  
 パートナー(連携先) | エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社、  
 株式会社阪急阪神百貨店  
 参加学生 | 全領域 計37名  
 担当教員 | 大野知英 非常勤講師  
 助成支援 | 環びわ湖大学・地域コンソーシアム  
 「大学地域連携課題解決支援事業2022」  
 成安造形大学「SEIANドリームプロジェクト」

### SEIANドリームプロジェクト

未来社会デザイン共創機構では、研究活動の活性化を目的として、「SEIANドリームプロジェクト」(学生特別研究助成金)を実施しています。本学の学生から枠にとらわれない独創性豊かな研究・制作テーマを募集。採択テーマには、総額100万円の研究・制作資金の助成支援を行うとともに、相談や指導をはじめ、各種外部団体やスポンサー企業とのマッチングなどの活動支援します。

[概要]  
 助成支援 | 総額100万円を限度とする研究・制作資金の助成(1-3件を採択)  
 活動支援 | 研究・制作活動の相談、指導・助言、マッチング(アドバイザー、共同研究・制作者、各種外部団体、スポンサー企業等)、広報、情報提供等  
 応募資格 | 本学に在学する1-4年生及び本学に在籍する研究生

### seianチャレンジ～学生が取り組む地域活動支援制度～

令和4(2022)年度より新たな学生の支援制度として、本学の基本理念(教育理念)「芸術による社会への貢献」を具現化する学生の自主的・主体的な活動を支援する「seianチャレンジ」(学生が取り組む地域活動支援制度)を実施しています。活動資金が足りない、活動へのアドバイスやサポートを希望する学生を支援します。

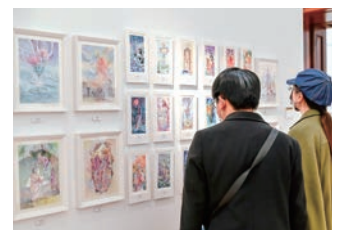
[概要]  
 助成支援 | 1件あたり5万円以内  
 応募資格 | 本学学生のみで構成された団体又は学生個人  
 支援対象 | 地域社会全体に貢献する芸術活動

## 成安造形大学 卒業制作展2023

### Graduate Exhibition 2023

令和4(2022)年度の卒業制作展は、2月に京都市京セラ美術館と京都市美術館別館において開催しました。今回は6領域21コースの学生209人の学生が出品しました。いずれの作品も創意工夫が凝らされた多彩な作品展示となり、多くの来場者で賑わい、関係者からも高い評価を受けました。コロナ禍のため制約が多い中、十分な感染症対策を施し無事に終了することができました。関係各位に深く感謝を申し上げます。

会期 | 2023年2月16日[木]-2月19日[日]  
 会場 | 京都市京セラ美術館・京都市美術館別館  
 [関連イベント]ファッションショー SEIAN COLLECTION 2023  
 会期 | 2023年2月9日[木]  
 会場 | 京都府立府民ホール・アルティ  
 ※卒業制作展の様子は成安造形大学教育後援会のHPから映像でご覧いただけます。  
<http://www.kyoikukoen.seian.ac.jp/info/?p=71>





ごあいさつ

成安造形大学教育後援会会員の皆様、大学関係者の皆様、平素より本会の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。  
息子が成安造形大学にお世話になり始めて早くも4年目になりました。2年生の時に誘いを頂き、不安ながらも教育後援会の役員として本会の先輩の皆様や大学職員の方々と共に学生への支援活動を進めてまいりました。そして今年度は会長に指名されました。  
コロナ禍の中で、3年が過ぎ去り、学生の皆さんは、残念ながら制限された学生生活を送って来られました。今年5月にコロナもやっと5類感染症となり、世の中も様々な事が緩和され、大学も以前の様に活気づいていくと思われま

学生の皆さんが思い出に残る様な大学生生活が送れるように、微力ではございますが大学運営と学生の活動を応援、協力し、支えていければと思っております。  
最後に、皆様のご協力のもと成安造形大学を盛り立てていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



成安造形大学教育後援会会長  
竹田晶世

令和5年度 総会報告

成安造形大学教育後援会の令和5年度総会は、昨年度と同様に、書面にて賛否を問う形で実施いたしました。令和4年度事業報告(案)、令和5年度役員・監事選出(案)、令和5年度事業計画(案)など計5議案が付議され、承認されました。詳細については、別刷版「成安造形大学教育後援会 令和5年度総会報告」をご覧ください。例年は、総会と同日に保護者のための就職セミナー等のイベント、懇談・懇親会を開催しておりましたが、保護者のための就職セミナーについては後日、改めて動画をご視聴いただく要領での実施を予定、懇談・懇親会については中止といたしました。

令和4年度 事業報告

令和4年度は、教育懇談会(個別面談)1回、保護者のための就職セミナー1回を開催いたしました。

第1回教育懇談会

令和4年11月12日[土]に成安造形大学にて開催しました。午後から行われた教育懇談会(個別面談)は、97組の申込、参加は85組、うち交通費の補助対象は41組でした。

令和5年度 総会議案

- 第1号議案 | 令和4年度事業報告(案)
- 第2号議案 | 令和4年度決算報告(案)
- 第3号議案 | 令和5年度役員・監事選出(案)
- 第4号議案 | 令和5年度事業計画(案)
- 第5号議案 | 令和5年度予算(案)

令和5年度 役員・監事

会長	竹田晶世	イラストレーション領域 4年
副会長	長嶋真理子	空間デザイン領域 3年
	中村千秋	イラストレーション領域 3年
	稲垣尚子	イラストレーション領域 3年
	辻貴美子	イラストレーション領域 2年
庶務	宇多麻里子	イラストレーション領域 2年
	上林則子	イラストレーション領域 2年
	原田直紀	イラストレーション領域 2年
	樽本敦子	総合領域 1年
会計	佐治和也	イラストレーション領域 3年
	出口尚子	美術領域 2年
監事	北山恵	美術領域 3年
	若園千景	イラストレーション領域 1年



学生の活動に対する支援

教育後援会では大学に在籍中の学生が展覧会(個展・グループ展)を開催するにあたり経費を補助する制度があります。令和4年度の申請は以下の通りです。

令和4年度 成安造形大学教育後援会 学生支援行事(展覧会)補助金

NO.	展覧会名	開催期間	代表者	領域	学年	開催会場名	所在地	参加人数	来場者数
1	Voyager	2022年4月19日-4月24日	堺俊輔	情報デザイン	4年	maronie gallery 3	京都府京都市	4名	200名
2	新美和季個展 In may dreams.	2022年6月21日-6月26日	新美和季	美術	4年	ギャラリー恵風1F	京都府京都市	1名	147名
3	Box garden	2022年5月12日-5月24日	野田有美華	情報デザイン	4年	レト印刷JAM	大阪府大阪市	2名	24名
4	地球の被膜 The Earth's mantle	2022年5月24日-5月29日	CHEN HONGYI	情報デザイン	4年	MEDIA SHOP   GALLERY 2	京都府京都市	1名	50名
5	ASSH	2022年10月2日-10月15日	北川汐理	空間デザイン	4年	スリースター京都	京都府京都市	3名	200名
6	わたしたちは普通	2022年12月7日-12月11日	有村聡美	美術	3年	堀川御池ギャラリー	京都府京都市	29名	147名
7	boundary	2023年1月31日-2月5日	橋本樹里	美術	4年	ギャラリー恵風	京都府京都市	1名	87名
8	汽笛を鳴らす	2023年2月13日-2月19日	細川真耶	美術	4年	同時代ギャラリー	京都府京都市	11名	70名
9	翠禮祭	2023年2月21日-2月27日	中島百香	空間デザイン	3年	Gallery35 KYOTO-KAMANZA	京都府京都市	4名	30名
10	こんとんでん	2023年3月6日-3月12日	中尾七海	空間デザイン	3年	MEDIA SHOP gallery1	京都府京都市	11名	129名

## 令和4年度卒業式・卒業記念パーティ

令和4年度卒業証書・学位記授与式が令和5年3月10日[金]に琵琶湖ホテルにて挙行されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、長野寿子本会前会長をはじめ多くの来賓の方にご臨席いただきました。また、3年ぶりに保護者の方も出席いただきました。

小笠善通学長より、第27期生203名に卒業証書及び学位記が、研究生5名に修了証明書が授与されました。卒業式に引き続いて行われた学生表彰では、4名の受賞者が読み上げられ、表彰されました。

卒業式・学生表彰後、例年は同ホテルにて卒業記念パーティを開催していましたが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止いたしました。

## 教育後援会HPのご案内

本会の情報はホームページでもご覧いただけます。

「成安造形大学教育後援会」で検索してください。

<http://kyoikukoen.seian.ac.jp/>



## 令和5年度入学式

令和5年度の入学式は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、令和5年4月3日[月]に成安体育館にて挙行されました。

令和5年度は、新入生243名、2年次編入生4名、3年次編入生13名、研究生11名が入学すると同時に、本会も新入会員をお迎えすることになりました。

## 成安造形大学教育後援会OBOG会 さざなみ会 会報「さざなみ」短信

本会の会報「さざなみ」を、他の団体の会報とともに、京都成安学園学園報「SEIAN」(Vol.11)に合冊して発行する予定でしたが、令和4年度につきましては本会の多くの活動が新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったため、令和5年度については発行いたしません。

なお、総会議案の詳細については、別刷版として学園報とともに会員の皆様にお届けする予定です。

## キャリアサポートセンターからの報告とお願い

### 令和4年度(令和5年3月)卒業生の進路状況

卒業 者数	就職				進学	その他
	希望 者数	就職 者数	対就職希望者数に 対する就職率	対卒業者数に 対する就職率		
209人	145人	128人	88.3%	61.2%	14人	67人

注1. 卒業者数には、令和4年9月卒業生6名を含む。

注2. その他は、有期雇用期間が1年未満で週30時間未満、臨時労働者、就職準備中、進学準備中など。

令和5年3月卒の学生は、大学生活の大半をコロナ禍で過ごしてきました。行動制限などで思うように活動できなかった学生生活を送った学生からは「学生時代に頑張ったことが書けない」といった不安の声も聞かれました。

一方で、制限下でもこのような状況だからこそ取り組めることを見つけ、充実した時間を持つことができた学生も多く見受けられました。

個人の価値観が多様化する中、学生の働くことへの価値観も多様化しています。自身の成長を目標に掲げ、副業可能な企業や、いずれはフリーランスで働きたいといった希望を聞くことも増えてきました。

本学キャリア科目では、実社会で求められることの理解を深めることを目的に、OBをはじめ、社会人との接点を持つ機会を設けました。成安での学びが幅広い業界で役に立つことに気付き、視野を広げるきっかけになりました。

キャリアサポートセンターでは、4年生になる3月と9月に全員対象のショート面談の他、就職相談、応募書類添削、模擬面接など、対面とオンラインを学生の希望に合わせて、個別相談を実施しました。学内企業説明会やガイダンス、サポート講座など、就活に対して前向きに動くことができるよう、様々なイベントを実施しました。

### 4年生(令和5年3月卒)の就職状況

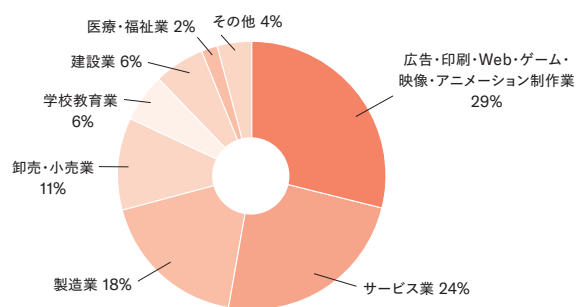
企業の採用活動は、年々早期化されており、3年生から活動を始めることが一般的な流れになり、学生にとっても、早期から自身の進路に向き合うことが重要となりました。

本学では、3年生の1月にオンライン合同企業説明会を実施し、3日間で9社、ゲーム、印刷、webなど、学びと関連の深い業界を深く知る機会を設けました。企業の選考では、一次面接はオンライン、最終面接は対面など、社会状況に合わせて実施され、昨年度のように一度も会社に行くことなく内定をもらうといったケースはありませんでした。

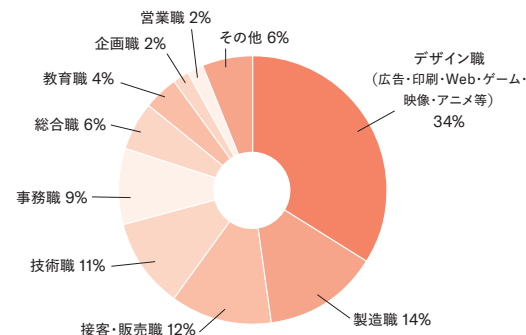
広告、エンタメ、イベント業界の求人は減少しましたが、ゲーム、IT、Webなど採用が活発な業界もありました。

希望の就職先になかなかとどり着けず、諦めかける学生にも丁寧に面談を続け、本人が納得する進路選択ができるよう最後まで支援を続けた結果、就職率は、88.3% (昨年より+2.3)となりました。

### 就職者の業種



### 就職者の職種



### 保護者の皆様へ

キャリアサポートセンターは「学生一人ひとりが、芸術を通じて自らの価値に気付き、物事の本質を捉える力を養い、自立(自律)した社会人としての生き方、働き方を実現できる人づくり」をポリシーにしています。

正課科目であるキャリアデザイン科目、就職ガイダンス、サポート講座をはじめ、個別相談(履歴書添削、模擬面接など)のサポート策は、学生が将来に向けて、自主的に考え、行動するためのきっかけを作ることが目的です。

学生一人ひとり目標としていることは違います。キャリアサポートセンターは学生と向き合い一緒に考えていきます。

将来に向けて、ご子息が悩まれているようでしたら、是非キャリアサポートセンターに相談に行くようお声がけください。学生自身が一歩前に出ることがとても大切です。



ごあいさつ | 祝・成安造形大学開学30周年、いよいよホームカミングデーを開催!!

少し秋めいてきましたが、会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。おかげさまで、昨年は同窓会設立25周年記念展も開催でき、節目を祝うことができました。いつも活動にご支援をいただきまして、本当に感謝申し上げます。

同窓会では、大学と連携し「卒業生のネットワーク充実」「留学生とのコミュニケーション」に注力することを話し合いました。そうした背景から、留学生として成安を卒業しイラストを通じて世界で活躍しているアンジャンさん、成安を卒業し、大手印刷会社を経て、埼玉県川口市でデザインを通じた地域貢献、女性支援に尽力され、数々受賞されている福井さんをクローズアップしました。お二人ともご多忙中、ご活躍の様子を執筆いただきありがとうございます。

さて、成安造形大学は、1993年の開学からいよいよ30年を迎えました。開学当時は、I棟、J棟は無く、グラウンドというか広大な湿原、おごと温泉駅から直接

つながる道もなくただの山、正門前の小学校もありません。今は随分違った風景でしたが、30年を経てすっかり充実しました。それでも、中庭やクスノキ、実習棟など当時の面影を残す風景もあります。そんな大学を見に来ませんか？

来たる11月11日[土]に、ホームカミングデーを予定しています。さまざまな催しを企画中で、懐かしい先生方にもお越しいただきます。そして、何より集まることができずに唇をかんだ、学園創立100周年、同窓会25周年で、待ちに待ったホームカミングデーですので、ずーっと昔の卒業生も、少し懐かしい卒業生も、ヤングの卒業生も、ご都合お繰り合わせの上、ぜひぜひお越しください。

これからも、親交の場と母校に貢献できればと思いますので、引き続き、ご支援の程よろしく願います。最後に、皆様の益々のご活躍をお祈りします。

成安造形大学同窓会 会長 | 川満真也



ホームカミングデー 2023年11月11日[土] 成安造形大学 集合

活動報告

令和5年度 第1回役員会議を開催しました

6月3日[土]、オンラインで開催しました(出席7、委任状22、欠席10)。5議案が提出され、すべて承認いただきました。会則第8条に基づき、この役員会をもちまして総会に代えさせていただきます。

令和5年度 第1回役員会議案

- 第1号議案 | 令和4年度 事業報告(案)
- 第2号議案 | 令和4年度 決算報告(案)
- 第3号議案 | 令和5年度 同窓会役員選出(案)
- 第4号議案 | 令和5年度 事業計画(案)
- 第5号議案 | 令和5年度 予算(案)

令和5年度 同窓会役員 ※2013年まではクラス、2014年からは領域となっています。

会長	川満真也	1997年卒 写真	
副会長	宇野 君平	1998年卒 立体	田部井勝彦 2002年卒 映像
監事	西川学歩	2000年卒 映像	藤井俊治 2006年卒 洋画
委員	金剛地彩子	1998年卒 芸術計画	吉田周平 2004年卒 写真
	明界要介	2005年卒 住環境	脇本慎也 2005年卒 洋画
	岡田美久	2005年卒 芸術計画	大村大悟 2007年卒 彫刻
	磯部実樹	2013年卒 日本画	佐藤雄亮 2013年卒 イラスト
	中南有佳梨	2014年卒 メディア	大西由起 2020年卒 総合
	柴垣大祐	2020年卒 イラスト	中川睦美 2020年卒 イラスト
	上井彩希	2020年卒 美術	饗場健太郎 2020年卒 空間
	都広志	2020年卒 空間	川村晴香 2021年卒 総合
	武村直輝	2021年卒 イラスト	室原牧人 2021年卒 イラスト
	野一色優美	2021年卒 美術	山本拓海 2021年卒 メディア
	王培基	2021年卒 空間	有澤愛祈 2022年卒 総合
	杉和佳奈	2022年卒 イラスト	吉岡保乃 2022年卒 イラスト
	猪俣悟	2022年卒 美術	森内春香 2022年卒 メディア
	生田和輝	2022年卒 空間	井尻なごみ 2022年卒 地域実践
	大町彩依	2023年卒 総合	土井有里彩 2023年卒 イラスト
	小松明日香	2023年卒 イラスト	永島慎太郎 2023年卒 美術
	中村夏波	2023年卒 情報	窪田祥子 2023年卒 空間

ホームカミングデーの開催を楽しみにしています

空間デザイン領域プロダクトデザインコースを卒業いたしました窪田祥子です。今回初めて役員会に参加し、今までたくさんの方に支えられていたと気づきました。学生も卒業した社会人もどちらも活動がしやすいように環境を整えてくださっていると知りました。コロナの規制が緩和されてきてイベント等も開催できるようになってきたため、学生も卒業生も交流できるホームカミングデーの開催を楽しみにしつつ、私も微力ながらお力添え出来るよう頑張りたいです。場面に合わせて直接の交流できる場、オンライン交流の場と使い分けながらたくさんの人が交流でき意見や情報が交換できる場が出来るようにしていきたいです。これからどうぞよろしく願います。



——窪田祥子(2023年 空間デザイン領域卒業)

展覧会開催に対する補助金制度が、グループ展から個展に拡大

これまで同窓会では、正会員が団体で展覧会(グループ展)を開くための費用の一部を補助していましたが、令和5年度より正会員が個人で展覧会(個展)を開催する場合も補助の対象となるように制度を改正しました。詳細は、成安造形大学のWEBサイトから、大学同窓会のページ「同窓会展覧会補助金制度について」をご確認のうえ、ご活用ください。

今後も引き続き、正会員の多様な活動に対して支援できるような制度のあり方を模索したいと考えています。

また同窓会では、「クラス会補助金支援」も行っていますが、今年度も引き続き休止させていただきます。響心祭やセイアンアーツアテンション16のレセプションは開催されますので、ホームカミングデーまで待ちきれない方ももっと集まりたい方、ぜひご参加ください。お待ちしております。

ホームページ、SNSを立ち上げます。ぜひ、フォローを!

同窓会では、卒業生のネットワークを国内外問わずより充実させるために、公式ホームページの制作を進めています。ホームカミングデーでの公開を目標にしています。また、公式SNSも公開する予定です。ぜひご覧ください。



## クローズアップ① | 成安から日本各地、インドネシア、そして世界へ—物語を描く

私は成安を卒業してからすぐに日本の会社に就職し、2年半くらい勤めていました。その時はイラストの活動はメインではなく、空いている時間にギャラリーの展示やイベントに参加して作品制作を続けました。年に2-3回くらい展示したというようなペースでした。この活動を続けることでいろんな人にも出会い、いろんなところで展示することができました。大阪のギャラリーをはじめ、京都、岡山、そして想像もしなかった東京のギャラリーまで。「第5回三鷹市 星と森と絵本の家 回廊ギャラリー展示絵本作品公募展」で佳作をいただき、2019年4月-6月に展示することができました。

2019年にたまたま母国のインドネシアから声かけをいただいて、帰国することを決めて、インドネシアで働くことになりました。会社はインドネシアクリエイタの様々な作品を発展させて、世界中に広めたいという目的があります。そのための最初の段階は作品をコミックとしてアメリカで出版し、紹介していきたい。さまざまな準備や努力を重ね、やっと2023年に2つのタイトルを出版できました。その作品の中の一つは今私が描いているコミックになります。4年生の時はずっと絵本作家を目指して制作していたが、まさかコミックを作ることになるとは思いませんでした。今は月刊という形で出しているの締切に間に合うように頑張って描いています。

また、今描いているコミックとは別で、最近絵本のイラストレーションを描く機会をいただきました。この絵本はキャンベラ(オーストラリア)の作家さんが文字を書いて、キャンベラの出版社から出版され、現在オーストラリアの本屋さんで販売されています。このように絵本関係のプロジェクトもやることができ大変嬉しいです。これからも物語を描くような作品を少しずつ世の中に出していけたらいいなと思っています。

—ツリアンディカ アンジャンニ(2016年 イラストレーション領域卒業)

ホームページ | [www.triandhikaanjanani.com](http://www.triandhikaanjanani.com)

インスタ | @triandhikaanjanani



第5回三鷹市 星と森と絵本の家 回廊ギャラリー展示絵本作品公募展の様子

## クローズアップ② | 人生100年時代……まだ折り返し。学生に負けず、夢を追いかける

今年度より学園の評議員をやらせていただくという事で、先日四半世紀ぶり関東から移動し、学校に足を踏み入れた。気持ちはあの頃と変わっていない。ただ歳をとっただけ? いや、経験だけは増えたかな……。かなりの時が経ってしまっていた。という事で歳がバレてしまいますね……。笑) そう、何を隠そう一期生ですから。

新品の校舎、新しい仲間、何もかも新鮮だったあの頃を思い出す。懐かしさで胸がキュンとなり涙が溢れそうに……。

あの頃よりも立派になったキャンパス、そして生徒も倍になっているとの事。色々な卒業生がここから旅立ち活躍しているのであろう。その日の夜には、久々に当時のメンバー集合。みんなおっさんになっていたが、話し出すとあの頃と変わらず、あの頃に帰れる大切な仲間たち。懐旧談に花が咲く。みんなあの頃では考えられないくらい活躍している。あの頃描いた夢を着実に実現している。私も少しはしっかりしたのかな? 自分の子供がもう大学生。そりゃ、おばちゃんになるわな……。

現在は独立し、スタッフを抱え、企画・デザインを生業にし、日々バタバタではあるが充実した日々もあの頃があつてこそ。そんな経験をさせてくれた母校を誇りに思った。人生100年時代……と思うと、まだ折り返し地点。これからも学生に負けず、夢を追いかけていこうと思う。

—福井(旧姓|廣瀬)千波(1997年 印刷クラス卒業)

**komado+design** 株式会社コマドデザイン <https://www.komado-design.com>



代表取締役として、母として、女性活躍を支援する福井さん

## お知らせ

### 卒業記念品の贈呈

令和4年度の卒業記念品として、 TENT1張を大学へ寄贈しました。響心祭などで活躍することでしょう。また、卒業記念パーティが開催できなかった代わりに卒業生にはQUOカードをお配りしました。

### 住所に関するお問い合わせについて

会員の住所などのお問い合わせについては、ご本人の了解のもとでお教えしています。お問い合わせの際には、学園報をお届けしております送付状のあて先の下に記載の会員番号にて本人確認をさせていただきます。



令和5年度 通算第12回 総会・会員親睦行事報告

本会の令和5年度 通算第12回総会を、令和5年5月28日〔日〕午前11時から日本私立学校振興・共済事業団京都宿泊所「白河院」(京都市左京区岡崎法勝寺町16)において、通常の形式で開催いたしました。総会には、令和5年度事業計画案や予算案など計7議案が提案され、いずれも役員会提案どおり承認されました。総会議案の詳細につきましては聚英会のホームページ(聚英会のホームページは成安造形大学のホームページから[大学案内]→[外郭団体/聚英会]へとお進みください)に掲載しておりますのでご確認ください。また、総会終了後の午後12時から、「白河院」におきまして会員親睦行事を開催いたしました。コロナ禍で久方ぶりの開催となりましたが、事務局を含めて16名の参加があり、親睦を深めました。

令和5年度 通算第12回総会議案(審議事項)

- 第1号議案 | 令和4年度 事業報告案
- 第2号議案 | 令和4年度 決算報告案
- 第3号議案 | 令和4年度 監査報告案
- 第4号議案 | 京都成安学園役員・教職員同窓会聚英会会則改正案
- 第5号議案 | 役員選出案
- 第6号議案 | 令和5年度 事業計画案
- 第7号議案 | 令和5年度 予算案



溝辺 行雄 絵画個展

地元草津での個展も十数回になります。思えば小生30代よりほぼ毎年の個展開催で半世紀近くになりましょうか。一向に進歩はありませんが、まあ「継続は力なり」の言葉を信じて毎回少しでも作品の質を高めて行くように地道に努力を重ねていくつもりです。聚英会の皆様のご声援よろしくお願いたします。(1942年生まれ。京都成安高等学校美術科教員として40年勤務)

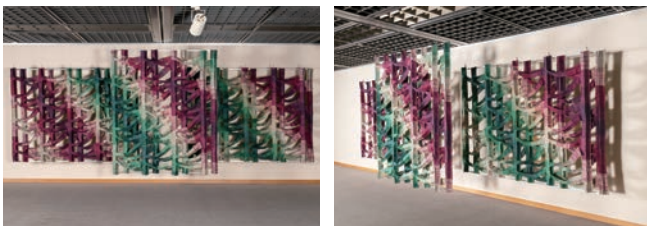
会期 | 令和5年6月6日〔火〕-11日〔日〕  
会場 | ギャラリー風の門(滋賀県草津市大路1-7-1-108)



久保田繁雄 ファイバーアートの15人展

ファイバーアートの復興と、魅力を多くの人に知ってもらおうと思い私が総合プランナーになり、2018年に「ファイバーアートの7人展」を企画した。2021年に中堅作家も加え「ファイバーの15人展」、今回は一部メンバーを入れ替えての15人展を行った。私の作品は「森の響きシリーズ」と題した3点を出品しました。緑と紫のコントラストが印象的な立体作品で、麻糸を使った帯状の織物を複層的に配置して、森の中で感じる風や音、木漏れ日の表現を試みた。

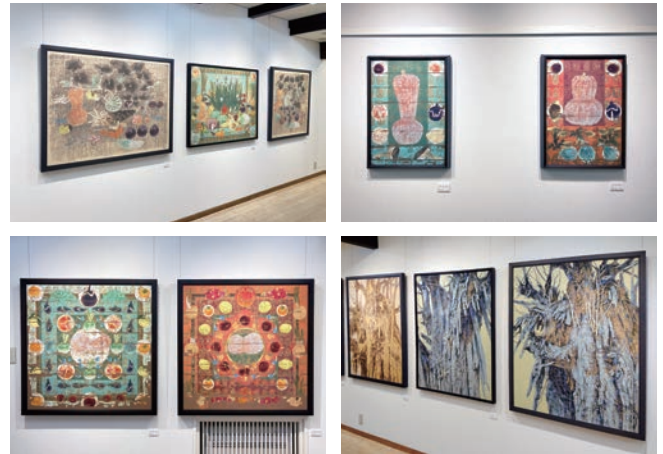
会期 | 令和5年5月16日〔火〕-28日〔日〕  
会場 | 京都文化博物館(京都市中京区三条高倉)



個展 西久松吉雄展一地の恵み

日本列島の地形による気候風土や土壌の違いで培われた各地の特色ある野菜や果物は、その土地からの恵みである。かつて地蔵盆にお供えた京野菜や果物などの情景が、いつまでも記憶に残っている。賀茂茄子、鹿ヶ谷南瓜、万願寺とうがらし、海老芋など京都の伝統野菜は、土の性質や水質、盆地特有の気温の寒暖差など、自然環境によって育まれた特産品として魅力的な色彩と形と味覚がある。これまでの記憶や経験が重なりこれら京野菜の作品へと結びついた。

会期 | 令和5年4月25日〔火〕-30日〔日〕  
会場 | ギャラリーヒルゲート(京都市中京区寺町通三条上ル天性寺前町535)



村岡幸信 退任記念 日本画作品展

成安造形短期大学の設置者変更に伴い大阪成蹊学園に移り、のちに改組変換した大阪成蹊大学芸術学部の教員として、併せて30年ほどの教員生活を終えました。退職に際して、自身の表現と取り組んできた作品などここ20年ほどの制作活動の一端を大阪成蹊大学芸術学部主催の退任記念展として展示しました。長年にわって描いてきた風景の作品ですが、私にとってその時々に出会った思い出深い作品の展示となりました。

会期 | 令和5年3月21日〔火〕-26日〔日〕  
会場 | ギャラリーマロニエ 4F Gallery・5F Space5  
(京都市中京区河原町通四條上る塩屋町)



おくやみ

令和5年2月10日に、元成安造形短期大学教授で服飾文化学科部長などを歴任された吉田晃良先生がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



令和4年度保育証書授与式

令和5年3月17日[金]に保育証書授与式を遊戯室にて挙行了しました。藤田朋美園長から園児51名に保育証書が授与されました。園児たちは一人ひとり「おおきくなったらなりたいもの」をステージ上から披露し、保護者の皆様も頼もしく見つめていらっしゃいました。新たな希望に向かって園児たちは巣立っていきました。



幼稚園・大学連携事業

令和4年度から本格的に成安造形大学との連携事業を開始しました。大学の先生方を6月6日、7月25日、9月9日の3回お迎えし、幼稚園教諭の教育・保育を参観いただきました。もぐみ(年長)は、壁面製作「梅雨」の製作に大学の先生から直接指導をしていただきました。園児たちは、普段とは違う先生から楽しい造形活動をまなび、ワクワクしながら取り組んでいました。



新遊具 キッズログバルコニー設置

令和4年度保護者会様からご寄贈いただきました「キッズログバルコニー」。重量は約280kgあり、芝生を傷めないよう子どもたちの「がんばれ!がんばれ!」の声援を受けて、ヤマネ保育社さん、メーカーのGakkenスタッフさんと教職員で担ぎ運びました。早速、子どもたちは、すべり台、ログハウス内で仲良く遊んでいました。芝生の園庭、新棟の木目調と調和し、また、一つ成安幼稚園の彩りが増えました。



樹名板の取付け

開園90周年を記念して、園庭新たに植えられた樹木。「やまぼうし」や「さくらんぼ」等24か所に樹名板を取り付けました。園児たちは、樹木名の名前を呼びながら親しんでいました。



令和5年度入園式

令和5年4月12日[水]に入園式を遊戯室にて挙行了しました。3歳児42名、4、5歳児各2名の新入園児を迎えました。緊張しながらも名前を呼ばれた園児たちは、元気よく返事をし、これからの集団生活にドキドキワクワクしていました。



第1保育棟保育室内装改修事業



昭和50年開園以来、たくさんの園児が過ごしてきた第1保育棟保育室。夏休みに内装工事を実施しました。床のフローリングは木目調に、壁と天井は真っ白になりました。LED電灯や展示用ワイヤー等を新調し、真新しくなった保育室で元気いっぱい園児たちの楽しく過ごす声が聞こえてきました。



エアコン更新事業

本格的な秋冬シーズンに向けて、昨年10月にエアコンを新調しました。室外機は1t近く、専用クレーン車で空高く吊り上げました。夜中1時に寺戸川沿いの道路を封鎖し、無事設置しました。園児たちにもこのスケール感を見せてあげたかったです。環境にも優しいエアコンになり快適な環境で園生活を過ごしてほしいと思います。



芝生園庭とハスクバーナー



日当たり、風通しもよく順調に育った園庭の芝生。来園する方から芝生の育ちの良さに感動され、園児たちは気持ちよく裸足で走り回っています。自動芝刈り機のハスクバーナーも購入し、放課後に黙々と整備をしています。時々鉄棒に挟まり、救助しなければなりません、すっかり園児たちの人気者です。



学部学科の収容定員増について

令和4年6月に芸術学部芸術学科の1年次入学定員220人、2年次編入学定員4人、3年次編入学定員4人とする学則変更の認可申請を文部科学省へ行い、同年8月に令和5年4月1日からの定員に関する学則変更が認可されました。このことにより、令和8年4月には収容定員が900名となります。

成安造形大学 副学長

副学長の氏名	担当する職務	備考
泊博雅 (芸術学部 教授)	1 キャリアサポートセンター長 2 入学及び広報に関する校務	学校教育法(昭和22年法律第26号)第92条第4項に基づき「学長を助け、命を受けて校務をつかさどる」副学長
加藤賢治 (芸術学部 教授)	1 キャンパスが美術館 館長 2 研究・連携支援に関する校務	「学長を助ける」副学長

イラストレーション領域のコース改編

イラストレーションの分野を取り巻く環境は著しく変化していることから、令和5年度よりイラストレーション領域をこれまでの7コース制から、4コース制(メディアイラスト表現・キャラクターイラスト表現・映像イラスト表現・アートイラスト表現)に改編しました。改編した4コースは広く多様なイラストレーションの世界を、普遍的な4つの立ち位置で分類し、より専門性の幅と深さのあるコース制へ進化しました。

成安造形大学附属近江学研究所からのお知らせ

令和5年度近江学フォーラム会員募集

成安造形大学附属近江学研究所では、近江学フォーラムの会員を募集しています。令和5年度は、会場に講師を招いて対面で開催する公開講座とオンデマンド形式の会員限定講座を実施しています。

会員限定講座は、遠方の方もインターネットを通じて近江学を学んでいただくことができます。

滋賀県(近江)の持つ豊かな自然と歴史、文化に対し、興味・関心のある方、ご自身の持っておられる知識や見聞を深めたい、広げたいとお考えの方は、是非、本会会員にお申し込みください。

成安造形大学学生・卒業生及びその保護者、聚英会、旧設置校卒業生、成安幼稚園卒園生の皆様は「学園会員」の対象となり、年会費3,000円(通常5,000円)でご入会いただけます。また、学園会員のご家族も「家族会員」として同額(年会費3,000円)でご入会いただくことが可能です。

令和5年度の近江学フォーラムは、「禍 転じて」をテーマにした5つの会員限定講座や、来年のNHK大河ドラマ「光る君へ」の主人公である紫式部ゆかりの石山寺への現地研修を予定しています。その他、会員の皆様には近江学研究所主催公開講座の無料受講・文化誌『近江学』最新号など刊行物の贈呈、大学内施設の利用など様々な特典があります。

成安造形大学附属

近江学研究所『紀要』第12号発行

成安造形大学附属近江学研究所の研究活動をまとめた『紀要』第12号をWEBで公開しています。

バックナンバーも下記のURLからご覧いただくことができます。

第13号は令和6年3月に発行を予定しています。



<https://omigaku.org/database/>

滋賀県中小企業団体中央会との産学連携事業

成安造形大学は滋賀県中小企業団体中央会と平成27年に包括連携協定を締結しています。

この協定は相互に協力し、地域社会・地域経済の振興と発展に貢献する人材の育成などを目的としたものです。

令和4年11月には、本学3年生を対象に実践的なスキルや知識を身につける就職支援を目的とした「キャリアデザイン科目」において中央会にご協力いただきました。

当日は中央会に加盟されている企業5社にご来学いただき、学生のグループワークのオブザーバーとして、学生に質問をしていただいたり、ご意見をいただいたり、最後は講評をお願いしました。

「なぜ、〇〇に興味を持ったのか?」「良いことを言っているのに、声が小さいよ」「ちゃんと相手の目を見て姿勢よくお話ができています」「興味深いお話だね、その続きをまた聞きたいな」など、学生に貴重なコメントをいただきました。学生にとっては自身のコミュニケーション力を試すなど、今後の就職活動に向けての貴重な機会となりました。

就業力育成演習D

令和4年11月22日[火] 3・4校時

出席学生 | 3年生96名

対面によるグループディスカッション

文化誌『近江学』第14号好評発売中



成安造形大学附属近江学研究所では、近江に関する幅広い分野の第一人者が、多様なテーマで「近江」の地域文化を内包する歴史と美を考察する文化誌『近江学』を発行しています。最新刊・第14号の特集テーマは「禍 転じて」。疫病や風水害などの自然災害に対して人々はどのように対応してきたのか? コロナ禍で厄除けとして再び注目をあびた「角大師」の護符、疱瘡(天然痘)にかかった病人の症状を軽くするとされた疱瘡絵や大津絵、土砂崩れを防ぐために建造された長大な石垣などから、人びとの災いとのかきあひ方を読み解きます。現在、各書店・インターネット書店で好評発売中です。定価1,800円(消費税別)。バックナンバーも含めて、近江学研究所でも販売しています。

※次号第15号のテーマは「近江の惣」です。令和6年2月に発行を予定しています。

成安造形大学附属近江学研究所

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

Tel. 077-574-2118 Fax. 077-574-2120 E-mail. omigaku@seian.ac.jp



近江学HP  
<https://omigaku.org/>



近江学Twitter | @omigaku  
<https://twitter.com/omigaku>



近江学Instagram | @omigaku\_seian  
[https://www.instagram.com/omigaku\\_seian/](https://www.instagram.com/omigaku_seian/)



情報公開

1 令和4年度 決算の概要

(1) 資金収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

収入の部

科目	決算額
学生生徒等納付金収入	1,451,749
手数料収入	14,244
寄付金収入	24,645
補助金収入	283,844
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	18,597
受取利息・配当金収入	14
雑収入	40,118
借入金等収入	0
前受金収入	597,641
その他の収入	641,753
資金収支調整勘定	△ 585,518
前年度繰越支払資金	884,075
収入の部合計	3,371,162

支出の部

科目	決算額
人件費支出	872,860
教育研究経費支出	539,712
管理経費支出	123,195
借入金等利息支出	7,637
借入金等返済支出	169,884
施設関係支出	71,798
設備関係支出	29,283
資産運用支出	2,056
その他の支出	759,426
[予備費]	
資金支出調整勘定	△ 98,552
翌年度繰越支払資金	893,863
支出の部合計	3,371,162

(4) 貸借対照表 令和5年3月31日現在

科目	本年度末
固定資産	7,953,320
有形固定資産	7,613,230
土地	4,514,109
建物	2,643,262
構築物	171,552
教育研究用機器備品	80,763
その他の有形固定資産	203,544
特定資産	301,645
その他の固定資産	38,445
流動資産	934,383
資産の部合計	8,887,702
固定負債	1,555,532
長期借入金	1,120,452
その他の固定負債	435,080
流動負債	881,513
短期借入金	144,040
その他の流動負債	737,473
負債の部合計	2,437,045
基本金	11,820,578
繰越収支差額	△ 5,369,921
純資産の部合計	6,450,657
負債及び純資産の部合計	8,887,702

(2) 活動区分資金収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科目	決算額
教育活動資金収入計	1,828,051
教育活動資金支出計	1,535,767
差引	292,284
調整勘定等	38,125
教育活動資金収支差額	330,409
施設整備等活動資金収入計	4,986
施設整備等活動資金支出計	101,084
差引	△ 96,098
調整勘定等	△ 55,192
施設整備等活動資金収支差額	△ 151,290
小計	179,119
(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	
その他の活動資金収入計	595,153
その他の活動資金支出計	764,429
差引	△ 169,276
調整勘定等	△ 55
その他の活動資金収支差額	△ 169,331
支払資金の増減	9,788
前年度繰越支払資金	884,075
翌年度繰越支払資金	893,863

(5) 財産目録 令和5年3月31日現在

1 資産総額 8,887,702千円  
うち (1) 基本財産 7,613,230千円 (2) 運用財産 1,274,473千円

2 負債総額 2,437,045千円

3 正味財産 6,450,657千円

区分	金額
資産総額	8,887,702
基本財産	7,613,230
土地	58,021.26㎡
建物	21,823.69㎡
構築物	171,552
教育・器具及び備品	88,987
図書	191,904
車輛	3,415
運用財産	1,274,473
現金・預金	893,863
積立金	301,645
その他運用財産	78,965
負債総額	2,437,045
固定負債	1,555,532
うち長期借入金	1,120,452
流動負債	881,513
うち短期借入金	144,040

(3) 事業活動収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科目	決算額
学生生徒等納付金	1,451,749
手数料	14,244
寄付金	19,935
経常費等補助金	283,604
付随事業収入	18,597
雑収入	40,078
教育活動収入計	1,828,207
人件費	875,759
教育研究経費	678,369
管理経費	133,316
徴収不能額等	1,582
教育活動支出計	1,689,026
教育活動収支差額	139,181
教育活動外収入計	14
教育活動外支出計	7,637
教育活動外収支差額	△ 7,623
経常収支差額	131,559
資産売却差額	0
その他の特別収入	8,044
特別収入計	8,044
資産処分差額	10,991
その他の特別支出	3
特別支出計	10,994
特別収支差額	△ 2,950
[予備費]	
基本金組入前当年度収支差額	128,608
基本金組入額合計	△ 305,200
当年度収支差額	△ 176,591
前年度繰越収支差額	△ 5,218,049
基本金組取崩額	24,721
翌年度繰越収支差額	5,369,921

(参考)

事業活動収入計	1,836,265
事業活動支出計	1,707,657

※決算の概要においては、端数処理の関係で合計が合わない場合があります。  
※成安造形大学のホームページでも財務情報を公開しています。

2 定員・入学入園者数・定員充足率の推移

成安造形大学 芸術学部 芸術学科 各年度5月1日現在

学年	年度	性別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			現員(人)	現員(人)	現員(人)	現員(人)	現員(人)
1年生	200	男	73	74	81	66	79
		女	162	160	149	155	174
		計	235	234	230	221	253
	定員充足率	1.18	1.17	1.15	1.11	1.15	
2年生	200	男	66	72	71	80	59
		女	165	158	158	144	147
		計	231	230	229	224	206
	定員充足率	1.16	1.15	1.15	1.12	1.01	
3年生	210	男	62	69	85	83	92
		女	207	167	168	172	157
		計	269	236	253	255	249
	定員充足率	1.28	1.12	1.20	1.21	1.22	
4年生	210	男	45	55	54	73	66
		女	163	194	155	147	155
		計	208	249	209	220	221
	定員充足率	0.99	1.19	1.00	1.05	1.05	
合計	820	男	246	270	291	302	296
		女	697	679	630	618	633
		計	943	949	921	920	929
	定員充足率	1.15	1.16	1.12	1.12	1.11	

注1 編入学定員は2年次4人、3年次4人、4年次10人、計18人。  
注2 定員充足率は、小数点以下第3位を四捨五入。

成安幼稚園 各年度5月1日現在

学年	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		現員(人)	現員(人)	現員(人)	現員(人)	現員(人)
満3歳児	44	—	—	—	—	0
	定員充足率	—	—	—	—	0.00
3歳児	104	64	48	62	45	42
	定員充足率	0.62	0.46	0.60	0.43	0.47
4歳児	105	71	65	52	59	45
	定員充足率	0.68	0.62	0.50	0.56	0.50
5歳児	105	63	74	62	51	63
	定員充足率	0.60	0.70	0.59	0.49	0.70
合計	314	198	187	176	155	150
	定員充足率	0.63	0.60	0.56	0.49	0.48

注1 満3歳児の令和5年5月1日現在の在籍園児数は入園日の関係で0人である。  
注2 定員充足率は小数点以下第3位を四捨五入。

3 教職員

(1) 教職員数 令和5年5月1日現在

		令和5年度		
		男	女	計
成安造形大学	専任教育職員	34	12	46
	助手	3	4	7
	客員教育職員	8	5	13
	招聘教育職員	16	1	17
	非常勤講師	67	43	110
	計	128	65	193
成安幼稚園	専任教育職員	0	5	5
	常勤講師	1	4	5
	非常勤講師	0	6	6
	計	1	15	16
合計		129	80	209

注1 専任教育職員には、学長(男1人)、副学長(男2人)を含む。  
注2 専任教育職員には、特別任用教育職員及び助教21人(男11人、女10人)を含む。

		令和5年度		
		男	女	計
法人学校	専任事務職員	4	0	4
	計	4	0	4
成安造形大学	専任事務職員	14	11	25
	技能職員	4	4	8
	契約事務職員	2	2	4
	臨時職員	5	20	25
	計	25	37	62
成安幼稚園	専任事務職員	1	2	3
	技能職員	0	1	1
	臨時職員	0	1	1
	計	1	4	5
合計		30	41	71

注1 兼務は除いた。

(2) 令和5年度 階層別・年齢別教育職員数、教育職員1人当たり学生数

	専任教育職員												助手					
	教授			准教授			講師			助教						計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
21歳-25歳																		
26歳-30歳									1	1		1	1	2	2	4		
31歳-35歳									1	1	1	1	1	1	1	2		
36歳-40歳						1	2	3	1	1	2	2	3	5				
41歳-45歳				3	3				1	1	4	4						
46歳-50歳	2	2	4	2	6				2	2	8	2	10					
51歳-55歳	1	1	2	1	1						2	2						
56歳-60歳	3	1	4	3	3						3	4	7					
61歳-65歳	14	2	16								14	2	16					
66歳-70歳																		
71歳-																		
計	20	3	23	8	5	13	1	2	3	5	2	7	34	12	46	3	4	7
教育職員1人 当たり学生数	20.2												-					

注 設置基準上の必要専任教育職員数は27人。うち教授は14。

教職員異動

令和4年度 教職員 退職

[令和5年3月31日付]

小寄善通氏(大学 専任教育職員)※学長職は継続

中村彰宏氏(大学 専任事務職員)

城た美氏(大学 任期制特別任用教育職員 准教授)／片岡萌子氏(大学 任期制助手)

大島彩乃氏(大学 任期制助手)※任期制非常勤講師として採用

三宅佑紀氏(大学 任期制助手)／高木亜香音氏(大学 技能職員)

会見貫太郎氏(大学 技能職員)／奥谷文香氏(幼稚園 常勤講師)

大石尚美氏(幼稚園 常勤講師)

令和4年度・令和5年度 教職員 新規採用

[令和4年9月1日付]

鶴田康平氏(大学 専任事務職員)

[令和4年10月1日付]

山田勝洋氏(大学 専任事務職員)／服部 由空氏(大学 任期制助手)

[令和5年4月1日付]

眼福優子氏(大学 任期制特別任用教育職員 准教授)

4 役員・評議員・特別顧問

(1) 京都成安学園 役員

理事現員10人・監事現員2人

理事長	小林徹	
専務理事	山下英利	令和5年4月1日 就任(重任)
常務理事	山田崇	令和5年4月1日 理事就任(重任)
		令和5年6月1日 常務理事就任(新任)
理事	小寄善通	
	岡田修二	
	畠山義隆	
	岩本洋子	令和5年4月1日 就任(重任)
	目片信悟	令和5年4月1日 就任(重任)
	西久松吉雄	
監事	三浦常治	
	藤野一郎	

(2) 京都成安学園 評議員

評議員現員21人 敬称略

第1号評議員 法人の職員	泊博雅	令和5年4月1日 就任(重任)
	日比野文孝	令和5年4月1日 就任(新任)
	藤田朋美	令和5年4月1日 就任(重任)
第2号評議員 卒業生	川満真也	令和5年4月1日 就任(重任)
	福井千波	令和5年4月1日 就任(新任)
第3号評議員 理事	小林徹	令和5年4月1日 就任(重任) 理事長
	小寄善通	令和5年4月1日 就任(重任) 理事・大学長
第4号評議員 学識経験者	坂井昇	令和5年4月1日 就任(重任)
	山本昌和	令和5年4月1日 就任(重任)
	岩本洋子	令和5年4月1日 就任(重任) 理事
	目片信悟	令和5年4月1日 就任(重任) 理事
	石丸正運	令和5年4月1日 就任(重任)
	山田崇	令和5年4月1日 就任(重任) 理事(常務理事)
	花山智久	
	木村至宏	令和5年2月1日 就任(重任)
	岸野洋	令和5年4月1日 就任(重任)
	松本隆	令和5年4月1日 就任(重任)
第5号評議員 学識経験者	佐藤祐子	令和5年4月1日 就任(重任)
	小山昌英	令和5年4月1日 就任(重任)
	辻喜代治	
久保田繁雄	令和5年4月1日 就任(新任)	

(3) 京都成安学園 特別顧問

特別顧問現員3人 敬称略

草木 輝子	令和5年4月1日 就任(重任)
大野 俊明	令和5年4月1日 就任(重任)
牛尾 郁夫	令和5年4月1日 就任(重任)

宮City氏(大学 任期制特別任用教育職員 准教授)

藤井俊治氏(大学 任期制特別任用教育職員 講師)※任期制助教からの採用

須崎喜也氏(大学 任期制助教)※任期制助手からの採用

山田真実氏(大学 任期制助教)※任期制助手からの採用

武雄文子氏(大学 任期制助手)／西田優史氏(大学 任期制助手)

上坂光恵氏(大学 技能職員)※任期制助教からの採用

近持久世氏(大学 技能職員)／宮崎圭氏(大学 技能職員)

岡部孝子氏(幼稚園 技能職員)／大谷智恵子氏(幼稚園 常勤講師)

柳川光氏(幼稚園 常勤講師)／渋谷昭吾氏(幼稚園 常勤講師)

永年勤続表彰 令和5年度表彰者(表彰式 令和5年7月14日)

[勤続20年表彰]

櫻井宏哉氏(大学 教授)／永江弘之氏(大学 教授)

南塚也氏(大学 教授)／山川裕樹氏(大学 教授)

飯野巧巳氏(大学 教学課長)／土井もゆ氏(大学 教学課長補佐)

[勤続30年表彰]

日比野文孝氏(大学 事務局次長)／土井道子氏(大学 総務課長補佐)



## ご寄付のお願い

京都成安学園では、「教育振興」「同窓会奨学基金」「近江学研究所」及び「キャンパスが美術館」への支援を目的として、本学園に縁のある方々に広くご寄付をお願いいたしております。皆様方のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

### [お申し込み・払い込み方法]

同封いたしております「払込取扱票」で最寄りの郵便局からお振り込みをお願いいたします。また、手続きが便利な本学webサイトwww.seian.ac.jpからのクレジットカードによるご寄付も可能です。本学webサイトの最下部にある「募金について」からお申し込みください。法人からのご寄付についてもお受けいたしますので、事務局までご照会ください。

※webサイトからのお申し込みは、令和6年2月1日-3月31日までの間、経理処理の関係上お取り扱いできません。誠に申し訳ございませんが、詳細は、事務局までご照会ください。

### [寄付金の種類と口数]

個人 | 1口5,000円 法人 | 1口10,000円

※1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。

### [寄付金の税法上の優遇措置]

京都成安学園は、文部科学大臣から寄付金の募集に関して「特定公益増進法人であることの証明書」及び「税額控除に係る証明書」の交付を受けています。ご寄付いただきました金額は、税法上の優遇措置を受けることができます。

### [ご寄付への返礼]

1口以上のご寄付を賜りました皆様に、本学園オリジナル筆箋をお届けいたします。

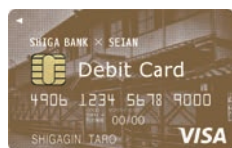
お問い合わせ先 | 〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

成安造形大学 総務課 Tel. 077-574-2111(代表)

Fax. 077-574-2120 E-mail. soumu@seian.ac.jp

## SHIGA BANK × SEIAN Visa デビットカード 入会のご案内

京都成安学園では、学校法人京都成安学園創立100周年を記念して、滋賀銀行様の全面的なご協力を得て、SHIGA BANK × SEIAN Visa デビットカードを発行いたしております。カードのデザインは、大正10(1921)年当時の「成安技芸女学校 吉田下阿達町校舎」の写真を使用したもので、他にはない京都成安学園のオリジナルデザインです。本カードにご入会いただきますと、カード入会支援金がカード発行会社から学園に支払われ、学園の教育研究に充当する仕組みとなっています。これまでも多くの皆様にご入会いただいております。案内リーフレットを同封いたしておりますので、ぜひこの機会にご入会ください。



※案内リーフレットは、滋賀銀行の本支店がある滋賀県、京都府、大阪府在住の方のみに同封いたしております。あしからずご了承ください。

## 成安造形大学 卒業生子女授業料等減免制度

成安造形大学では、①成安造形大学 ②成安造形短期大学ならびに成安女子短期大学を含む前身の学校 ③京都成安高等学校ならびに成安女子高等学校を含む前身の学校 ④京都成安中学校ならびに成安女子中学校を含む前身の学校 ⑤成安幼稚園を卒業・卒園された方の2親等以内の血族に当たる方または本人が受験される場合、入学検定料、入学金の免除及び授業料を20%減免する制度を設けています。該当する方が成安造形大学を受験される際には、成安造形大学入学広報センターまでお問い合わせください。

※申請時期は、入学1次手続き時です。※本学が設ける他の減免制度(学祖特別、姉妹校、パートナーシップ協定校、指定校、指定枠、特待生)との併用は不可とします。

成安造形大学 入学広報センター

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

Tel. 077-574-2119(直通) Fax. 077-574-2120

## 100周年記念事業 クリエイティブキャンパス計画に伴う作品設置

学園創立100周年記念事業の一環で行われた「クリエイティブキャンパス計画に伴う作品設置」は、令和4年12月に全作品の設置を完了しました。キャンパス内に新しく設置された13組23個の作品は全て野外で鑑賞できますので、大学にお越しの際はぜひお楽しみください。



## 褒章の受章

本法人理事で、成安造形大学名誉教授の西久松吉雄氏が紺綬褒章を受章されました。紺綬褒章は、公益のために私財を寄付した個人又は団体に授与される国の褒章制度です。今般の受章は、ご自身の作品を京都府に寄贈された功績によるもので、令和5年4月12日に授与されました。

## 建学の精神の再構築について

本法人の建学の精神について、学園創立100周年を迎えたことを機にその内容等について慎重に検討した結果、学祖 瀬尾千力の発言の記録やこれまでの学園の歴史等を踏まえて、再構築することが適当であるとの結論に達したことから、16ページに掲載のとおり再構築いたしました。令和5年度から適用しています。

## 京都成安学園の概要



### 京都成安学園 建学の精神 「成安・誠と熱・実践教育」

京都成安学園の歴史は、大正9(1920)年7月17日、学祖 瀬尾チカが成安裁縫学校の設立を京都府知事から認可されたときから始まります。

京都成安学園では、学園名だけでなく成安裁縫学校以来これまで設置してきたすべての学校名に成安という言葉が冠してきました。設立当時は「心身ノ鍛錬、誠実勤勉ノ美德、経済的ニ独立シ得ル実力ノ養成ニ努メ、内ニ在リテハ則チ家庭ノ主婦トシテ、良妻トナリ賢母トナリテ、家ヲ治メテソノ繁栄ヲ計リ、出デテハ則チ国家ノ良民トシテ、国運ノ進展ニ寄与シ得ル新時代ノ婦人ヲ養成スル」ことを目的としていたことから、それらを要約し「成安」と名付けました。時代の変遷に伴い、現在では「成安」について「成とは成し遂げること。安とは安寧であること。つまり成安とは人の和を大切に、一人ひとりが自己の使命を追求し、全うし続けることを通じて、心安らぐ平和な社会をつくることに貢献する」という意味である。」と解釈しています。

学祖は、学習と実行の上には、事の大小にかかわらず、誠と熱をもって終始するよう毎日の生活を鞭撻しており、これが学園の指導精神であること、そして、正しい信念からほとばしり出る純真な誠とすべてのものを生かし得る熱をもって生徒に対して範を示さなければ、学校教育において「成安」という言葉が意味するところの目的を達することはできないと説いています。学祖の人生訓でもある「誠と熱」、誠実さと熱意と置き換えても良いこの言葉は、学園の建学の精神であるとともに校訓として、学園に関わる全ての者の歩むべき道筋を照らしています。

設立当時の成安裁縫学校の校則第1条には「本校ハ時代ノ進歩ニ伴ヒ最モ新ラシキ和洋裁縫及ビ実用的手芸ノ一般ヲ教授シ併テ自活学習ノ便ヲ与エ兼テ婦徳涵養ニ資スルヲ以テ目的トス」と謳われており、女性に自活できる能力を修得させることが学校設立の趣旨でありました。こうした女性の社会的・経済的地位を向上しようとする先進的な取り組みは、瀬尾チカの体験に裏付けられた確固たる信念に基づくものでした。以来、社会で役立つ知識や技能を修得させる教育、すなわち「実践教育」は本学園における学校づくりの基本的な考え方となっています。

### 京都成安学園 校訓「誠と熱」

#### 設置する学校

##### 成安造形大学

基本理念(教育理念)|「芸術による社会への貢献」

学部・学科|芸術学部芸術学科

開設|平成5年

所在地|〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

定員|838名

現員|929名(令和5年5月1日現在)

##### 成安幼稚園

基本理念|「豊かな創造力と健やかな体、たくましい自立心を育てる」

開設|昭和50年

所在地|〒617-0002 京都府向日市寺戸町八反田32-1

定員|314名

現員|150名(令和5年5月1日現在)※満3歳児を除く。

## 各団体事務局からのお知らせ

- ◎お名前やおところの変更、おくやみについてのご連絡をお願いいたします。
- ◎大学同窓会では、会員の慶弔に際して電報をお届けいたしております。ご結婚の際などは事務局までお知らせください。
- ◎大学同窓会では、会員の皆様から同期会、クラス会、展覧会、入選・入賞などの情報の提供や投稿などをお待ちいたしております。
- ◎各会事務局へのご連絡は「郵便」「電話」「Fax」もしくは「E-mail」にてお願いいたします。
- ◎各会事務局へのご連絡に際しては「大学同窓会事務局」「教育後援会事務局」「さざなみ会事務局」「聚英会事務局」と明記してください。

※成安造形短期大学同窓会京の会に関するお問い合わせは、法人本部(連絡先は下記事務局と同じです)までお願いします。

事務局連絡先|〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東 4-3-1 成安造形大学 ○○○会事務局(各会事務局名を明記してください)

Tel. 077-574-2111(代表) Fax. 077-574-2120 E-mail. soumu@seian.ac.jp

[個人情報取り扱いについて]

各団体の会員情報は、各会と学園において共同で管理しています。学園では、情報セキュリティ基本規程などに基づいて情報を保全しています。詳細については、大学のwebサイトにてご確認ください。大学同窓会事務局、聚英会事務局では、皆様のご連絡先に関するお問い合わせについては、ご本人の了解がある場合に限りお伝えしています。※各会事務局へのご連絡の際は、おとこ、お名前、会員番号を明記してください。会員番号は、学園報をお届けしている送付状に印字しています。

## 成安造形大学 令和6年度 入学試験 [詳しくは入学広報センター Tel. 077-574-2119 (直通)まで]

### 総合選抜入試

#### [2期] <体験授業方式>

エントリー期間|令和5年9月11日[月]~9月25日[月](必着)

試験日|令和5年9月30日[土]

#### [3期] <面接方式>

エントリー期間|令和5年10月30日[月]~11月6日[月](必着)

試験日|令和5年11月12日[日]

※オンライン面接 11月12日[日] 地域実践領域のみ

#### [4期] 特待生<実技方式>

エントリー期間|令和5年10月30日[月]~11月9日[木](消印有効)

試験日|令和5年11月18日[土]

#### [5期] <面接方式>

エントリー期間|令和5年11月17日[金]~11月27日[月](消印有効)

試験日|令和5年12月2日[土]

※オンライン面接 12月3日[日] 地域実践領域のみ

### 特別総合選抜入試

#### [2期] <面接方式>外国人留学生・海外帰国生・社会人

エントリー期間|令和5年9月11日[月]~9月21日[木](必着)

試験日|令和5年10月1日[日]

#### [3期] <面接方式>外国人留学生・海外帰国生・社会人

エントリー期間|令和5年11月10日[金]~11月20日[月](必着)

試験日|令和5年12月2日[土]・予備日12月3日[日]

### 一般選抜入試

#### [1期] <面接方式・実技方式>

出願期間|令和6年1月4日[木]~1月15日[月](消印有効)

試験日|面接方式 令和6年2月3日[土]

※オンライン面接 2月3日[土] 地域実践領域のみ

実技方式 令和6年2月4日[日]

#### [1期] 特待生 所得制限型<大学入学共通テスト利用方式>

出願期間|令和6年1月4日[木]~1月15日[月](消印有効)

#### [1期] 特待生 取得制限型<実技方式>

出願期間|令和6年1月4日[木]~1月15日[月](消印有効)

試験日|令和6年2月4日[日]

#### [2期] <面接方式・実技方式>

出願期間|令和6年2月5日[月]~2月13日[火](消印有効)

試験日|面接方式 令和6年2月23日[金・祝]

※オンライン面接 2月24日[土] 地域実践領域のみ

実技方式 令和6年2月23日[金・祝]

#### [2期] <大学入学共通テスト利用方式>

出願期間|令和6年2月5日[月]~2月13日[火](消印有効)

#### [3期] <大学入学共通テスト利用方式>

出願期間|令和6年2月26日[月]~3月12日[火](必着)

※総合選抜入試(2期)・特別総合選抜入試(2期)以外は、他大学との併願が可能です。  
※大学入学共通テスト利用における大学入学共通テストは令和6年1月13日[土]・14日[日]に実施されます。

## 成安幼稚園 令和6年度 園児募集 [詳しくは成安幼稚園 Tel. 075-933-2218まで]

### 入園願書の受付(入園申込)

令和5年10月2日[月] 午前8時から開始 会場|成安幼稚園 事務局